

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名： 福岡県総合福祉センター、福岡県人権啓発情報センター、福岡県男女共同参画センター
(クローバープラザ)
- 2 指定管理者名： クローバープラザ管理運営共同事業体
- 3 指定期間： 平成27年4月1日～令和2年3月31日
- 4 施設設置目的： 地域福祉の向上、人権意識の高揚、男女共同参画社会の形成を設置目的としている。
- 5 管理運営についての点検結果（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
 - (1)点検方法： 事業報告書、ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2)点検結果： 別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要																														
<p>①公共性（公益性）の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3センターを同一施設内に設置した複合施設としての特性を最大限に発揮し、各センターとの連携を活かした施設運営に取り組む。 ・事業団体や地域住民との協力、協働の仕組みづくりに取り組む。 ・障がいのある人や高齢者の方が快適、便利に利用できるよう、プライバシーの保護等の基本視点に基づくサービスの提供とともに、利用料減免等の施設利用支援を行う。 	<p>管理運営の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3センターの目的（地域福祉の向上、人権意識の高揚、男女共同参画社会の形成）に沿った総合的な学習の機会の提供の場として、一般の来館者向けに福祉や人権に関する施設を案内する「施設見学」や、車椅子等を体験する「ふれあい体験学習」などを実施した。 施設見学 H29 74件、2,357人 → H30 71件、2,363人 → R1 87件、2,563人 ふれあい体験学習 H29 14件、797人 → H30 14件、1,031人 → R1 17件、867人 ・3センターの協働事業として、引き続き「家族の日フェスタ」及び「フリーマーケットinクローバープラザ」を開催した。家族の日フェスタでは、子供向け人権啓発アニメの上映会や車いす体験等を行うほか、複合施設の特性を生かしたイベントを行った。 家族の日フェスタ H29 5,027人 → H30 5,469人 → R1 4,986人 フリーマーケット H29 17,800人 → H30 21,800人 → R1 23,300人 ・3センターの図書室及び資料室を巡るイベント「クローバープラザで本めぐり」を実施し、各図書室及び資料室の魅力を発信した。 ・福祉、男女共同参画関係の団体には早期予約や利用料金の減免といった施設利用支援を実施し、障がいのある人、高齢者等には利用料金の減免制度を適切に運用するなど、クローバープラザの設置目的に沿った利用の促進を図った。 ・高齢者や障がいのある人にも分かりやすい館内サインの追加更新を行った。 																														
<p>②施設利用及びサービス向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の設備、利用状況等の特性に応じた効果的な広報を実施する。 ・利用者の少ない時間帯、時期を対象とした企画により、利用促進を図る。 ・プール、体育館、グラウンド等を活用した運動指導教室、運動・健康づくりイベントを企画、実施し、サービスの向上を図る。 <p>・目標来館者数 667,900人 (総合福祉センター 530,300人) (男女共同参画センター 137,600人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報について、Facebook、TwitterといったSNSを活用した情報発信や「福岡ウォーカー」等への掲載により、リアルタイムな広報・PR対策を行った。 ・利用者の少ない夜間の利用促進を図るため、夜間限定回数券を発行したほか、夜間の時間帯に合わせ運動指導教室を開催した。 19時以降の入場者数：H29 8,801人 → H30 7,321人 → R1 7,525人 ・日々の運動支援の中で、利用者からの意見、要望を反映した運動教室及びイベントを27種類、合計837回開催した。 イベント種類・実施回数：H29 26種類、1,022回 → H30 27種類、715回 → R1 27種類、837回 運動指導教室等参加者数：H29 11,538人 → H30 9,195人 → R1 10,541人 ・トレーニング室に靴のまま履けるスリッパを導入する等、利用者の利便性向上に努めた。 トレーニング室利用者数 H29 40,040人 → H30 41,995人 → R1 38,418人 ・主に、複数の大型催事の規模縮小や新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休館の影響等により、来館者数は前年度より減少した。 <table border="1" data-bbox="840 973 1713 1157"> <thead> <tr> <th>【来館者数】</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合福祉センター</td> <td>519,851人</td> <td>→ 444,949人</td> <td>→ 447,622人</td> <td>(対前年度+ 0.6%)</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画センター</td> <td>134,825人</td> <td>→ 137,666人</td> <td>→ 124,432人</td> <td>(対前年度- 9.6%)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>654,676人</td> <td>→ 582,615人</td> <td>→ 572,054人</td> <td>(対前年度- 1.8%)</td> </tr> <tr> <td>人権啓発情報センター</td> <td>29,901人</td> <td>→ 29,494人</td> <td>→ 29,457人</td> <td>(対前年度- 0.1%)</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>684,577人</td> <td>→ 612,109人</td> <td>→ 601,511人</td> <td>(対前年度- 1.7%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【休館期間】 R2年2月29日～R2年3月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度に関するアンケート調査について、個人利用者の約85%、入居団体及び利用団体の約81%が概ね満足しているとの結果であった。 (回答数：個人利用者346件、利用団体39団体、入居団体24団体) <div data-bbox="1736 1037 2128 1157" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【来館者数】 目標値667,900人に対し、 実績は572,054人(目標値の85.6%)</p> </div>	【来館者数】	H29年度	H30年度	R1年度		総合福祉センター	519,851人	→ 444,949人	→ 447,622人	(対前年度+ 0.6%)	男女共同参画センター	134,825人	→ 137,666人	→ 124,432人	(対前年度- 9.6%)	小計	654,676人	→ 582,615人	→ 572,054人	(対前年度- 1.8%)	人権啓発情報センター	29,901人	→ 29,494人	→ 29,457人	(対前年度- 0.1%)	総計	684,577人	→ 612,109人	→ 601,511人	(対前年度- 1.7%)
【来館者数】	H29年度	H30年度	R1年度																													
総合福祉センター	519,851人	→ 444,949人	→ 447,622人	(対前年度+ 0.6%)																												
男女共同参画センター	134,825人	→ 137,666人	→ 124,432人	(対前年度- 9.6%)																												
小計	654,676人	→ 582,615人	→ 572,054人	(対前年度- 1.8%)																												
人権啓発情報センター	29,901人	→ 29,494人	→ 29,457人	(対前年度- 0.1%)																												
総計	684,577人	→ 612,109人	→ 601,511人	(対前年度- 1.7%)																												

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人、高齢者に対する利用料の減免など、クローバープラザの設置目的に沿った利用に配慮しつつ、施設利用の促進を図り、利用料金収入の確保にも努める。 省エネ対策の推進等により、管理運営費の削減を図る。 目標利用料収入 86,730千円 （総合福祉センター 74,663千円） （男女共同参画センター 12,067千円） 	<p>・昨年度からの指定管理料の変動は、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休館に伴う減収の補填及び消費税率の引上げによるもの。</p> <p>【指定管理料】 H29年度 H30年度 R1年度 445,455千円 → 443,986千円 → 458,771千円（対前年度+ 3.3%）</p> <p>【収入額】 H29年度 H30年度 R1年度 総合福祉センター 74,662千円 → 66,060千円 → 64,584千円（対前年度- 2.2%） 男女共同参画センター 12,067千円 → 11,751千円 → 10,452千円（対前年度- 11.1%） 小計 86,729千円 → 77,811千円 → 75,036千円（対前年度- 3.6%）</p> <p>人権啓発情報センター 626千円 → 620千円 → 582千円（対前年度- 6.1%） 総計 87,355千円 → 78,431千円 → 75,618千円（対前年度- 3.6%）</p> <p>【収入額】 目標値86,730千円に対し、 実績は75,036千円（目標値の86.5%）</p> <p>・経年劣化の見られるポンプ類について、高効率なモータへの更新を行い、電気使用量の削減に努めるとともに、「省エネルギーの日（毎月1日）」等を設けるなど、施設全体で省エネ対策に取り組んでおり、効率的な施設運営に努めている。</p> <p>・昨年度は天井工事によりプール等を長期休館した影響により、光熱水費等が極端に少なかったため、昨年度と比較すると経費は増加しているが、一昨年と比較すると削減できている。</p> <p>【管理運営費】 H29年度 H30年度 R1年度 516,684千円 → 501,044千円 → 508,799千円（対前年度+ 1.5%） （光熱水費） 90,035千円 → 83,826千円 → 90,423千円（対前年度+ 7.9%）※光熱水費は管理運営費の内数</p>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容に応じた専門技術職員や業務責任者の配置を行い、施設運営に当たって必要な各種研修を実施する。 収支計画に基づいて経営を行い、健全な財務体質を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 司書資格者や電気主任技術者等、業務内容に応じた専門技術職員等を確保するとともに、施設整備の維持管理業務及び施設利用業務の責任者を定め、適切な施設管理運営に努めた。 施設の運営管理に係る研修の受講、人権問題研修への参加など、概ね計画どおり実施した。 収支計画に基づいた経営を行い、健全な財務体質を維持している。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> クローバープラザ全体の施設の維持保守を行うに当たって必要な資格を有した職員の配置を行い、設備等の保守点検については信頼できる専門の業者に委託する。 安全管理を徹底し、災害時、緊急時の対応体制を確保する。 個人情報保護に的確に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気主任技術者資格を有する職員等、必要な資格者を配置した。また、設備等の保守点検については、実績があり、信頼できる専門の業者に委託するなど、適切・安全な施設運営に努めた。 常駐警備員による管内巡視を徹底するとともに、危機管理マニュアルを整備している。 クローバープラザ消防計画に基づく自衛消防隊を整備し、緊急時の即応体制を確保するとともに緊急時対応訓練を実施した。 個人情報管理マニュアル等に沿って、個人情報を適切に管理している。

②点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <p>福祉関係団体等の早期予約や障がいのある人、高齢者等に対して利用料金を減免するなど、クローバープラザの設置目的に沿った利用に引き続き配慮するとともに、ふれあい体験学習などの複合施設としての利点を活かした事業や家族の日フェスタなどの協働事業を実施しており、施設の設置目的や特性を活かした運営を行っている。</p> <p>また、原則月1回、県福祉総務課との月例会議の場を設け、公正な運営に向けた意見等を的確に反映するよう努めている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休館の影響等により、利用料収入・来館者数は前年に比べ減少し、目標値の85%程度となった。臨時休館の実施においては、県の方針を踏まえて迅速かつ整然と対応を行った。</p> <p>施設利用に関しては、夜間限定回数券の発行による利用促進対策、館内サインの追加更新等により、利用者サービスの維持・向上を図り、満足度アンケートでは利用者の約8割以上が概ね満足しているとの結果を得ている。</p> <p>以上のとおり、施設の設置目的に沿って、概ね提案どおりの運営が行われている。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------